



08

映画「大綱引の恋」
ロサンゼルス日本映画祭
2021でダブル受賞



©2020「大綱引の恋」フィルムパートナーズ

アメリカ・ロサンゼルスで10月11日に開催されたロサンゼルス日本映画祭2021で、本市を代表する祭りである「川内大綱引」をテーマとし、本市がロケ地ともなった映画「大綱引の恋」の監督の故佐々部清氏(享年62)が最優秀監督賞を、プロデューサー兼俳優の西田聖志郎氏(66)が最優秀プロデューサー賞を受賞しました。



07

甕島振興局の開庁、東部区域と甕島区域を担当する次長を配置



10月1日、「甕島振興局」を旧上甕支所庁舎内に開庁し、旧里支所庁舎内に「里市民サービスセンター」、旧鹿島支所庁舎内に「鹿島市民サービスセンター」を開所しました。また、企画政策部に東部区域と甕島区域を担当する2人の次長を配置し、これから均衡ある発展を目指します。



▲開館当時の様子

昭和41年6月30日、市民のつどいの場として完成し、市民の皆さまに親しまれてきた「川内市民会館(川内文化ホール)」が、令和3年3月31日、55年間の歴史に幕を下ろしました。

また、川内文化ホール跡地利活用事業を通じて、中心市街地を始めとする地域の賑わい創出および活性化を図り、持続可能で魅力あるまちづくりを推進することを目的として、九州電力株式会社と実施協定を締結しました。



▲さよならコンサートの様子

09

川内文化ホールの閉館と跡地利活用

次点ニュース

10大ニュースとはならなかったものの本市に大きな影響を与えた10項目を紹介します。

- ・青瀬あいのり交通の運行開始
- ・「令和コミュニティトーク」「令和デザイントーク」「LINEの導入」など広聴広報を拡充
- ・(株)パーツ精工、イタックス(株)との立地協定調印。川内港久見崎みらいゾーンの整備促進および高城産業用地開発事業に着手
- ・消防機能の強化(北薩3消防本部消防通信指令事務協議会の発足・NET119緊急通報システムの導入)
- ・光ファイバ情報通信網の基盤整備に着手！市域全帯が利用可能に！進むスマートシティ
- ・旧陽成小学校の利活用(PLAYSPACE YOZEI オープン)
- ・福居一大氏に薩摩川内観光大使を委嘱
- ・高校生による政策提言が活発化！
- ・救急隊員のスキルアップのための資機材購入費用の寄附金贈呈(伊藤二作氏)
- ・田海橋開通式と斧瀨市営住宅(借上型)供用開始



11月28日、薩摩川内市国際交流センターに鹿児島県内の茶業関係者が一堂に会し、鹿児島県の茶産地の活性化を目的とした、令和3年度鹿児島県茶業振興大会「2021かごしまお茶まつり in 薩摩川内」が行われました。

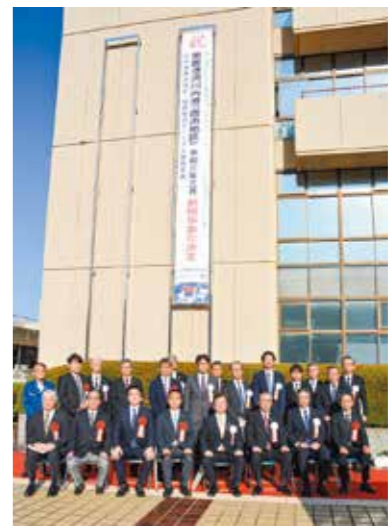
式典では、功績のあった県内茶生産農家や関係者、団体などが表彰されました。また本市はこれまでの農家の経営改善の取り組みが評価され「産地賞」が授与されました。

今後のさらなる鹿児島県の茶業発展と、本市茶生産農家の今後の大きな励みとなりました。

10

「2021かごしまお茶まつり in 薩摩川内」開催

3月、唐浜地区国際物流ターミナル整備事業が、国直轄の新規事業に採択されました。近年、急増している中国への木材の輸出対応や地震災害時においても社会・経済活動を維持することを目的に水深12mの耐震強化岸壁や航路・泊地のしゅんせつを行います。そして、11月19日には、事業化を記念する懸垂幕の掲揚式を行いました。また、官民一体となったポートセールスにより、川内港と韓国釜山港を結ぶ新たな国際定期コンテナ航路(船社：高麗海運)が開設され、国際定期コンテナ航路が3航路週4便体制となり、アジアをはじめ中東、ロシアへのサービスが拡充されました。



04

川内港新規事業化(唐浜地区国際物流ターミナル整備事業)と韓国定期コンテナ航路開設



4月28日、本市に東京2020オリンピック聖火がやってきました。上川内駅交差点～北薩地域振興局交差点の間で実施され、本市在住者4人を含む、14人のランナーがそれぞれの思いを胸に聖火をつなぎました。

また、男子バレーボール競技に出場するアルゼンチン(本市ホストタウン)とベネズエラの代表チームが、サンアリーナせんだいで事前キャンプを実施。田中市長を団長として、受け入れに係る団体などで構成された「薩摩川内市・東京オリンピック事前キャンプ応援団」を発足し、出迎えや見送りなどで両チームを激励し、交流を深めました。

さらに、中国常熟市と友好都市締結30周年を記念した交流会を実施。また金メダルなど8個のメダルを獲得した常熟市(本市ホストタウン)のパラリンピック出場選手4人とのオンラインによる交流を実施しました。



05

東京2020オリンピック&パラリンピック聖火リレーと事前キャンプ、友好都市30周年中国常熟市とのオンライン交流の実施



美しい自然と、古い歴史を誇りとする薩摩川内市は、人口減少・少子高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、SDGの理念を理解し、共通目標としてその達成に向けた取組を進めることで、あらゆる人たちが活躍できる多様性と包摂性のある社会の実現や持続可能で魅力的なまちづくりを進めていくことを、宣言します。

- 1 SDGにおける「誰一人取り残さない」との理念の下、経済・社会・環境の三側面における統合的な取組を、市民・事業者等と連携しながら推進することにより、持続可能で魅力的なまちづくりを目指します。
- 2 国際社会の一員として、脱炭素社会の実現を目指し、2050年までに本市の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ薩摩川内」の実現に、市民や事業者等と一体となって取り組めます。

令和3年6月8日 薩摩川内市長 田中 啓二

6月、本市では、SDGの理念に基づき、あらゆる人たちが活躍できる多様性と包摂性のある社会の実現や持続可能で魅力的なまちづくりを進めていくことを宣言しました。

10月には、令和2年12月にタイアップ宣言を行った川内青年会議所と「SDGカフェ」を行いました。

市施策のあらゆる分野でSDG・カーボンニュートラル推進の取り組みを展開する他、民間団体との連携も拡大してまいります。

06

薩摩川内市未来創生SDGカーボンニュートラル宣言